

第3回地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年2月26日(木) 14:00~15:00

場所：相模福祉村たんぽぽの家（相模原市中央区田名 6769-2） 2F 食堂

出席者：

田名地区社会福祉協議会顧問

保護者会 会長

やまびこ工房 相談員

ご利用者

たんぽぽの家：赤間理事長、岩崎課長、川村(相)、益本(相)

議題 1、出席者紹介

各自己紹介

2、地域連携推進会議の趣旨説明

川村より「地域の関係のある方が集まって地域の仕組みを育てていく」といった会議の趣旨を説明。

3、相模福祉村たんぽぽの家について

法人理念について、岩崎より説明。

また地域移行支援や意思決定支援、意思形成支援の側面から地域との関わりについても今年度の施設内での活動の内容を振り返りながら話をする。

現在のたんぽぽの家の課題としては、高齢化・重度化。「風の谷は自閉症の方が多い。高齢化は共通の悩み」とのお話。改めて岩崎課長より、65歳になった段階で、障がい者施設から高齢施設へ移動することの困難さを共有。

4、地域情報と交流企画

福祉避難所としての課題について(抜粋)

- ・川村より、自宅から離れることが難しい方（高齢であれば移動、障がいであれば拘り等）へのサポート体制を整えることが今後重要。
- ・田名地区社会福祉協議会顧問より「自治会の会議（避難所運営協議会）に相模福祉村も出席し、情報を共有することが良いのでは？」とのご提案。
- ・風の谷相談員より「避難所としての準備が課題、また地域とのかかわりも少ない。避難所として機能することを目指している。」とのお話。

▶その他地域情報

- ・ 田名地区社会福祉協議会顧問より「田名地区の自治会加入数は50を下回っている。若い世帯を自治会加入に促すことが大切。」とのお話。
- ・ 家族会会長より「1年間加入してメリットがないので脱会するという声がある。」とのお話。
- ・ 就業体験の実施について、川村相談員より説明。ダイナボアーズにおける就業体験の話を受けて、和い輪い田名での就業体験（お茶出しやお話相手）のご提案。今後積極的に関わりをもつ。また畑についても今後の交流を検討。
- ・ ご利用者より、障害者スポーツ全国大会の結果を報告。
- ・ 今年の夏休み頃に和い輪い田名にてベンチを3台製作予定。
※たんぼぼの家も参加予定としている。

5、質疑応答

特になし

6、施設見学

第三回 地域連携推進会議のようす

